

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## オーストラリア連邦

### 【据置】

外貨建長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- 格付は、政府の健全な財政ポジション、良好な経済基盤、安定した金融システムなどを主に評価している。経済、雇用は21年初めまでに新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで回復している。感染拡大が比較的抑えられてきたこと、政府による迅速な感染対策や大規模な経済対策、さらには中銀の緩和的な金融政策などが奏功した。政府は経済対策を継続し、着実な経済回復を図った上で財政健全化を進める方針である。財政収支や政府債務は大幅に悪化したものの、政府債務のGDP比は依然低水準にとどまっており、追加的な財政負担を吸収する余力を備えている。これにより、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 鉄鉱石などの天然資源に恵まれ、1人当たりGDP（購買力平価）は5.0万米ドルを超える高度に発展した経済。年平均1%を超える高い人口増加率と資源輸出の拡大から、19年までの過去5年の年平均経済成長率は2.4%を記録。20年の経済成長率はマイナス2.4%と他の先進国と比べても軽微な落ち込みにとどまった。財輸出の4割を占める中国との関係悪化の経済への影響は、これまでのところ限定的であり、財輸出は依然高水準の拡大を続けている。21年の経済成長率は感染再拡大から経済活動が制限されたものの、ワクチン接種拡大や経済対策の効果などから4%程度まで回復する見通し。JCRでは中期的には2%~3%程度の成長は可能とみているが、長期的な成長には脱炭素化に向けた対策が重要となっている。連邦政府は、低排出技術投資などを推進し、50年までのカーボンニュートラルを目指しており、その取り組み状況に注目している。
- 恒常的な赤字を続けてきた経常収支は、鉄鉱石など資源輸出の拡大により19年から黒字化している。鉄鉱石需要は先進国などでは脱炭素化の影響から縮小するものの、当面はアジアを中心に拡大が続くため、経常黒字が続く公算が大きい。純対外債務残高は経常黒字の継続からGDP比で緩やかに縮小している。金融システムでは、銀行部門は安定した収益力や厚い資本基盤を有している。不動産価格高騰の影響はみていく必要があるが、感染拡大の影響による追加的な与信費用は収益などで問題なく吸収可能である。
- 政府債務は大規模な経済対策などから、GDP比で大幅に上昇したものの、JCRがAAAの格付を付与するソブリンの中でも依然良好な水準にある。20/21年度（20年7月~21年6月）の一般政府財政収支は、大規模な経済対策の継続や経済悪化による税収の落ち込みなどから、19/20年度のGDP比4.3%から同7.8%まで赤字が拡大した。一般政府債務残高はGDP比で19年末には50%を下回っていたが、財政赤字拡大を受けて、20年末には同60%近くまで上昇している。政府は持続的な経済回復を図った後に財政健全化を進める方針であることから、当面財政赤字が継続するが、財政負担を吸収する余地はありとみている。

（担当）内藤 寿彦・利根川 浩司

### ■格付対象

発行体：オーストラリア連邦（Commonwealth of Australia）

### 【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AAA	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AAA	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年11月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：内藤 寿彦  
主任格付アナリスト：内藤 寿彦
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「ソブリン・準ソブリンの信用格付方法」（2021年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) オーストラリア連邦 (Commonwealth of Australia)
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が公表した経済・財政運営方針などに関する資料および説明  
・ 経済・財政動向などに関し中立的な機関が公表した統計・報告
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、発行体または中立的な機関による対外公表という、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 非依頼格付について：  
本件信用格付は格付関係者からの依頼に基づかない信用格付である。国に対する信用格付である場合を除き、依頼に基づく格付と区別するため格付記号の後に「p」を表示している。格付関係者からは、信用評価に重要な影響を及ぼす非公表情報を入手していない。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル